

*本資料は、2013年4月4日に英国で発表されたプレスリリースの日本語訳です。

報道関係各位

2013年4月11日
ボーダフォン・グループ

ボーダフォン、調査会社 Machina Research の調査で グローバル M2M リーダーの地位を 2 年連続で獲得

ボーダフォン・グループは、英国の調査会社 Machina Research が実施した、M2M (machine-to-machine) CSP (通信サービスプロバイダー) ベンチマーキング調査の 2013 年度版において、昨年に引き続き、グローバルな M2M 事業を展開する最も優れた通信サービスプロバイダー (CSP) として、業界トップの座を獲得しました

この調査を担当した Machina Research のマット・ハットン (Matt Hatton) 氏は今回の結果について、次のように述べています。

「この 1 年間、ボーダフォンは数多くの画期的な新事業を手がけるなど、積極的に M2M 関連の事業開発に取り組んでおり、業界トップの地位を獲得したことは当然であると言えるでしょう。同社は多様なソリューションの提供を通じて付加価値を高めることに注力しながらも、新たな手法を追求して M2M ソリューションのコストを削減し、よりシンプルに提供できるよう尽力しています。さらに組織的にも、ケーブル・アンド・ワイヤレス (C&W) を傘下に収め、新しいエンタープライズ事業部門内での M2M 部門の位置づけを強化するなど、M2M に対応するための万全の体制が整えられています」

ボーダフォンの M2M 事業部門長、エリック・ブレンナイス (Erik Brenneis) は次のように述べています。

「Machina Research の調査によって、当社が企業に多大なメリットを生む M2M 技術の導入支援に取り組んでいることが高く評価されたことを大変嬉しく思います。今回の調査では、当社が M2M 市場のリーダーとして、技術開発への投資やパートナー開拓、グローバル事業の拡大に積極的に取り組み、業界を牽引し続けていることが強調されています」

Machina Research の報道発表およびベンチマーキング調査の詳細については、以下の英語のサイトをご参照ください。

<http://machinaresearch.com/news/press-release-vodafone-retains-top-spot-in-machina-researchs-2013-m2m-csp-benchmarking-study/>

ボーダフォン M2M について

ボーダフォン M2M は、個別に稼動していた機器やデバイスをネットワークに接続させ、新たな機能やより高度なサービスを人の手を介さず提供することができるように変革させることができる技術です。20 年を超える経験と 250 名の専任スタッフによってサポートされるボーダフォンのグローバル M2M プラットフォームは、グローバル企業のために、地域間にまたがる展開でも集中管理を可能にするだけでなく、高度な制御機能をお求めやすい価格で提供されています。詳細については以下ウェブサイトをご参照ください。 <https://m2m.vodafone.com/home/japan/>

Twitter: @vodafone_m2m

ボーダフォンについて

ボーダフォンは世界最大規模のモバイル通信会社です。携帯電話の加入者数 (直接、また関連会社を通じての加入を含む) は約 4 億 300 万人 (2012 年 12 月 31 日時点) に上り、現在、5 大陸 30 カ国に子会社を持ち、全世界に 50 以上のパートナーネットワークを擁しています。ボーダフォンの詳細については以下ウェブサイトをご参照ください。

www.vodafone.com

本件に関する報道関係者お問合わせ先：

テキスト・ワンハンドレッド・ジャパン株式会社

山本・平出

電話番号：03-5210-1981

vodafone-japan-pr@text100.co.jp